

發行 市原商工會議所
加茂青 年友三
大曾根 友明
佐久間



一人は近所の方でもう一人は君津市にお住まいの共に一人暮らしの方です。君津市の方は夜中の3時頃に急に具合が悪くなり、市か

らしの高齢者用の電話ですぐに自力で救急車を呼べたそうですが、近所の方はそういう電話が無く、救急車を呼ぶのに手間取ってしまつて隣家の方のご親切に助けられたそうです。幸いまだ隣家の方が起きてらっしゃつた時間なので事なきを得ましたが、これがもし夜中だったらと思うと気持ちが悪くなるのは私だけではないと思います。

君津市で提供されている電話機というのは普段は全く普通の電話として使え、緊急時には電話機の中央に付いている直径6cmほどの大きなボタンを押すと24時間体制で待機している市の職員が出てくれる上に、方が一何も言えなくても発信者が判つてすぐに対応してくれます。

るそうです。
市原市でもこれと同じ制度があるそうです
が私の周囲で利用している方は少ないようです。
もっと積極的にPRしてもらえないものかと
痛切に感じました。
現在ご高齢の方と云えばつらい時代を乗り
切り今の日本の繁栄を築いてくれた皆さんです。
私達がのほほんと生活できているのもこの世
代の方々のお陰にほかならないと思っています。
加茂地区は都市部に比べて病院も少ないで
すし色々な面で不便なのは否めません。

自分たちで

暖冬のせいか、いつもなら11月後半が見頃の
 紅葉が12月中旬まで楽しめた。心配された滞
 滯もほとんどなく「アア良かった、良かった」と
 喜んでみたものの、逆に考えれば滞滯が
 無いほど来客が減っているということではな
 いのだろうか。

生活の足」を何とかしようと考えているときある高齢者の話を聞いた。病院は先生の都合で火曜日と決まっている。行きは倅が生社の時(早朝)車に乗せてくれるそうだが帰りは年金はほとんど通院の費用で消えそうだった。昨年は米が大豊作。だから一俵あたりの値段は暴落。畑は日照りと台風で大打撃。最近猿は見かなくなつたが代わりに猪の被害を聞くようになった。手間がかかる割に収穫が減る。百姓も自分が食うだけに減らす人が増えそうだ。

このまま放っておけば今年も暗い話題の尽きない年になりそうだが、暗いより明るい方が楽しいに決まっている。まして里山通信新年号、明るい里にはどうしたらなっていくのだろう。

行きたい観光地として常に上位にいる「湯布院」。田舎の温泉地がなぜそうなったのだろう。何とかしようともガキ始めたのは3人の男たちだと聞いている。

国鉄日營化で始まつた不採算路線の廃業。いまの規制緩和で廃線はもつと簡単に出来るらしい。でも隣町の汽車は今でも元氣に走っているし、バス路線の廃止を受けて自分たちでバスを走らせた町や村は全国に多数ある。

米の流通自由化で打撃を受けた生産地。生産組合を作り、自分たちで米を売り、株式上場を果たすまでになった所もあれば、米から果樹に転換を図り活氣にあふれている田舎もある。

キーワードは「自分」。天は自ら助けるものを助けるというし、棚の上のポタ餅は自分で取らなきゃ食えないのは昔から言われている。みんなの知恵が集まって、皆が汗を流せば大概のことは出来るはず。小さな善意と善意。前向きな行動や活動。小さな輪がだんだん広がって明る。い加茂の里への歩みが始まる。優しい笑顔と笑顔を繋ぐのは3年目を迎えた「い加茂里山通信」。地域を良くするための情報やアイデアが盛り沢山で編集委員はうれしい悲鳴を上げる。紙面も充実、読んだ人がまた楽しくなうって新しい取り組みが始まる。いい循環が始まった。

夢は見るもの、希望は叶えるものという。い加茂の地に関わるすべての人が希望にあふれた楽しい年でありますように。(大曾根里山通信)

それ、いいかも

2015年11月23日祝日、快晴、毎年この日にはワンサカ訪れる養老溪谷への紅葉狩りの車の渋滞が幾分少ないようだ。そう、今日はJリーグ最終戦、首位のジェフ市原と勝ち点差1で追う浦和レッズとの直接対決である。引き分けても優勝だが勝たねばファンが納得しない。会場は八幡の市原スタジアムだ。午後2時試合開始の2時間前なのにスタンドは4万人の大観衆ですでに埋まっている。黄色と赤の両サポーターが嵐のように選手コールドで応援合戦をヒートアップさせている。

テレビ中継の視聴率も30パーセントを超えると予想されている。それほど魅力的なチームに成長したジェフ市原は、宮沢ミッシェルGMが中西永輔を監督に抜擢したのが大当たり、ベテランでリベロの阿部を中心に司令塔のキヤプテン工藤浩平(姉崎高出・市原ユース)、FWの新鋭戸沢(加茂中・市原ユース)が大活躍。今日の最終戦も誰一人故障者も無く、ベストメンバーである。

午後2時キックオフ、試合は前半終了間際、ゴール左45度から得た30メートルのフリーキックを阿部が見事に決め先制。後半早々、レッツ閼莉王のヘッドで同点に追いつかれたものの、ロスタイムにコーナーキックからのこぼれ玉を戸沢が押込みゴール。見事王者に輝いた。試合後は市内を縦断パレード、延べ30万人の市民が祝福した。チームは来年のアジアカップ選手権に出場する準備のため、ジェフクラブグラウンドで長期合宿に入る予定。恒例の正月サイン会・トークショー（於、加茂コミュニティ

「ニティ」は予定通り行くそうだ。
(佐久間里山通信員)これ・ホントかも

先の通信で地域と里山の活性化に秘密基地を作ろうと提案したことがありましたが、それを実践しているいくつかの例があるので紹介いたします。昨年のシテイ

イフにも紹介されましたが、NPO法人市原ネイチャークラブ(鈴木恒雄理事長)が月崎の森に造った山小屋です。ここは小さな山の峰にあたるちよつと急な斜面にせり出すように建てられており、その反対側はそれこそつと急な斜面となつて眼下に釜老川の流れを見ることがができます。広葉樹に囲まれ木陰の下にあり、夏など下から吹き上げてくる風で涼しく気持ち良さそうです。実はここに至るまでの斜面おおよば原つばは笹竹の生い茂る原野のようであつたらしく、ますはその伐採から始めたということ、その段階では今の小屋あたりを下から伺うこともできなかつたということです。

全くの素人集団が木材の皮をむき、それを斜面に埋め立て、床板を張り、屋根を葺き、板を張り、もたらってきたサツシを組み込み、ペランダを作り、水の確保を図って完成したこの小屋は、広さが二間三間ほどあり、天井は十分な高さがあるため、山小屋によくある暗さが全くなく、明るく居心地のいいものになっています。ペランダも十分な広さが確保されているため、夏場のビアガーデンとしても最高です。また小屋の入り口近くには大きめのテーブルもあつてすぐにでもバーベキューのできる体制にあります。案内してくれた松下さんは制作の苦労話や裏話を実に楽しそうにしてくれました。

秘密基地はこれだけではなく、開墾した下の広場に六角か八角のあずま屋を作る予定とのことです。これらは炭焼きや工作教室など野外活動のあらゆる可能性にチャレンジするようで参加者を募集中です。

みんなで制作することの楽しみ、それを用ずることの楽しみ、まさにここは秘密基地としての要素を十分に兼ね備えています。

これからの活動が楽しみです。
詳しくはホームページ
<http://www.13.ocn.ne.jp/~inc/>
を参照ください。(征矢里山通信員)

人と環境をどこまでも大切に。実り多き未来へ、
杉田建材は、地域の皆様と共に歩み続けてまいります

本市	社	〒290-0549	市原市万田野 2 6
原支	店	〒290-0023	市原市惣社 1-1-22
南繪支	店	〒290-0255	市原市牛久 450-1
木更津支	店	〒292-0065	木更津市吾妻 2-7-20

TEL.0436(96)1311
TEL.0436(24)0511
TEL.0436(50)0111
TEL.0438(25)4434

ご自宅の駐車場など舗装をお考えの方へ
 コンクリートでもなくアスファルトでもないエコロジ―舗装
 ＊現場の土を再利用だから安い
 ＊無害・雑草抑止・カラー・透水施工もできます。

ISO9001:2000 認證

代表取締役 大曾根 友三

〒290-0221 市原市馬立414-1
TEL.0436-95-3023 FAX.0436-95-2235

里山を荒らすものたちが増えています。里

森の隣がすぐ人里となつて出沒しやすくなつたこと、山があちこち開發されてエサやすみがなくなつてしまつたこと、畑の作物を食料としはじめたことで食料が豊富になり、群れが増えたこと。これらが主な要因とされていますが、ほとんどが対処療法で根本的な解決策はまだないのが現状です。

NHKの「近所の底力」でも取り上げられていましたが、家々や地域がバラバラな加茂地区と住民が集中している住宅地では条件が異なります。何か有効な方法は無いものでしょうか。

ところで、問題は、この猿やイノ

シシよりもっとたちの悪い者たちのほうです。

悪知恵が働き、人の善意につけ込むという最悪の連中です。もちろん人間のことです。昭和30年代位まで、あるいはそれ以降もしばらく、人がいなくても鍵をかけてあるどころなく戸や窓は全開などという家はごくあたりまえでした。(今から30年くらい前、復帰直後の沖縄県西表島の小学校などは誰もいないのに教室も職員室も開けっ放しで感動さえしたものでした。)ところが今、この加茂地区でそんな家はほとんどないでしょう。

私の住んでいる高滝地区でも空き巣に入られたところがいくつもあります。(高滝の駐在さんが時々に見物に入れてくれる『広報高滝』はこの地区でどのような事故がありどのような犯罪がおこっているのかを伝えてくれてと

でも役に立っています。

空き果よりもつと悪質なのが人をだましにくる輩です。N.T.T.やその関連業者、東電とその関連業者などを偽つてのごまかしぼつたくりであつたり、あるいは豊田商事さんからの金商法のセールスであつたりで、加茂地区に限らずまさに田舎の人間が詐欺商法の標的にされていきます。これはだます側から考えてみるとよくわかります。田舎の人間は大体ひととがよくだましやす、家と家が離れていて都合が良い、独り住まいの老人が多い。まさに好都合という訳です。

私の家にもその手の人間がいろいろやつて

きます。あるときは工事用の服を着て手には
工事などのときに使うそれらしき
書類を持つという完璧なスタイル
でやってきて「今この近くで電話
線の工事をしているのですが、調
査に来ました」といっていろいろ
なことを聞こうとしたことがあり
ました。

確かにその日近くで電線の工事をしているのを知っていました。が、話の内容からすぐにおかしいと思い、まず名刺はあるかと問い、電話で問い合わせてみるという段になって帰っていました。

また別な時にはN.T.T.の代理店
を名乗り、「光ケーブルがじきにや
ってくるので、あがらせて受話器
を見せてもらいたい」というもの
でした。これは3人いて、あがっ
て受話器を見るなどといったので
す。ぐにおかしいと思い、名刺はあ

のか、上司の名前は、これから電話で問い合わせるからといったところ、これも帰っていきましたが、帰り際の言葉が「2、3日後またおうかがいます」というものでした。もちろん来ることはありませんでしたが、流れるようなスムーズな受け答え、この最後のセリフ、しっかりとしたマニュアルがあつて実に訓練されているなと感じました。

このときすぐに思ったのは、このことを多

くに人に知らせる方法はないものかという
とでした。昔の有線放送みたいなものがあ
れば加茂地区全域に「ただ今こういう不届
きなものが各家庭を回つてたまくらかさ

いますの注意してください。人相、車のナンバーをしっかりと覚えて通報してください」などと放送して注意を喚起できるのですが、いまはそれがないのが残念です。

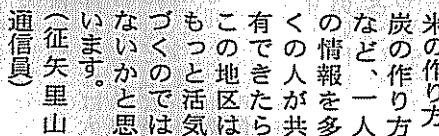
ではこうしたらよいのか。携帯電話や電話があれば、確認したいのでといってNTTの相談室、東電の相談室、あるいは南総警察へその場で電話してみること。(それらの番号は携帯電話に登録しておくといよい)。一人である場合、ともかく誰かをまず呼んで来てもらうこと。普段からこの手の人間が来たらお互いに呼び合うということを確認しておくこと。などが考えられますが、一人の情報をも一人だけのものにせず、多くの人に伝達するという観点から、普段から地区の連絡網などをしっかり作っておくというのが効果的ではないでしょうか。

これは少なくとも町会単位で話し合い、一人暮らしの老人などにも配慮したものをできるだけ早く作成して、人のうわさ話よりは遅くていいものの、回覧板よりは遥かに早く情報が行きわたるようにしたら、大きな効果を上げるのではないだろうか。またそれはすべての町会が共有すべき情報でもあるはずで、町会同士の連絡網を構築すれば加茂地区全域に短時間に情報が伝わるということになるでしょう。

加茂支所に加茂地区だけのホームページを

作成してもらい、そこに最新の情報をどんどん寄せてもらい誰でも情報を把握できるようにしたら、住民サービスということでこれほど効果的なものはないでしょう。

お金をかけずとも対処する方法はあると思います。猿やイノシシの問題もみんなの知恵をここにどんどん寄せせてもらえば、いい方法がきつと見つかるでしょう。野菜の作り方や



域産直として平成三年開設された。

見聞記

きつかけは、加茂地区の各種農産物生産団体の皆さんが集まって「協同の直売所を作つていこう」ということで、まず本郷の地が選ばれたそうです。

直産

なんと朝は5時30分から開けているそうで、そのバイタリティーには脱帽です。現在27・28人が主力して出品し、野菜は全て露地物という、特に「旬」のおいしい物にこだわりの品質は折り紙つきです。

この日も5キロ位ありそうなた
らかそうで巻の良い立派な白菜が沢山ありま
した。

3分の1位のお客さんが、千葉、東京などから当直売所目当てに来店してくれるそうで、今までの努力が確実に信用を得ているようです。驚いたことに、売れ行きの良い頃には年間一千万円の売り上げがあったそうです。今では他に直売所も増え、不景気のせいもあって、半分以上位になってしまったそうです。しかし、日曜祝祭日のみの営業を考えると、それでも目を見張るものがあります。

当初から会員の皆さんは、ただ農産物を売るのではなく、漬物の研究やそば打ちの研修さらには他の地域への視察などを行い早く取り入れ、加茂地区の他直売所を巻き込み、リリーダの存在となつて活動を続けています。

そんな努力が、平成五年に千葉支庁から、優秀な農業団体として表彰されました。

本郷直売所を訪れると、――――
―――営業
あらためて加茂の農家の――日曜祝祭日
皆さんの真面目な心意気――

と優しさが感じられました。
(佐久間里山通信員)

午前5時30分
午後3時

代表 戸谷浩さん
TEL 98-0333

左表の戸谷さん(右)と露崎さん
表彰されました!

青朝会は、平成三年、朝生原町

青朝会は、平成三年、朝生原町の青年相互の親睦を計り、地域の発展に貢献することを目的に、当時四十六人の会員で発足しました。

ゴミステーションの清掃ボランティア活動や高滝神社の秋の例大祭の神輿への参加、そしてお花見会、新年会などの行事を通して、会員相互の親睦に努めています。又今年度は、初めて一泊二日の旅行を実施し、より一層の会員の親睦を計りたいと計画しています。ただ現在の最大の悩みは、会員数の急激な減少で、今年度会費のみです。

は、いつでも入会者大歓迎ですので、
しくお願い致します。

（会長 小野寺 瀧 談）
 様に、宵朝会も活動の人員不足が特に、若い新しい世代の入会（い）年でも大歓迎です。五十才までは力になる事を期待しています。

らに各
年会、
どで、
報交換
するこ



香山通
コミステーション前にて
小野寺会長

市原商工會議所
副会頭 根本 巍

市原商工会議所加茂支部
文部長 征矢 吉之助
役員一同

[illegible]



おばあちゃんも汗を流しました。(富山地区)



春には菖蒲のお花畑が満開に。どうぞお楽しみに! (国本地区)

3広がる輪のづくりの里

加茂の里をもっと素敵にしようと始めた里づくり。富山地区でも自ら汗を流す人たちが輪を広げてくれました。富山小の児童の皆さんが学校の前に、老人クラブの湯原会の皆さんが公園の前に、それぞれチューリップの球根を植えてくれました。

国本では休耕で荒れ果てた田んぼに菖蒲の苗を植栽。草刈から畝作り、植栽と大変な作業ではありましたが、なぜか皆が笑顔で参加。花の咲くのが待ち遠しい。

町会をチューリップで明るく

(大曾根里山通信員)

生活の足は どうなる?

前回号まで3回にわたってお伝えしてきた、市民会議見聞録「もったいなく加茂地区を地域の人に、次代の人に」と加茂の現状と課題を話し合い、地域の人たちがチョッと頑張れば自ら出来る事のひとつとして生活交通の確保を提案させていただきました。

現状はどうでしょう。小湊鉄道は牛久中野間を上下10本に減便。小、中、高校生までが家族の送迎に頼り、高齢者は通院もままならず、ハンドルを握る家族はスケジュールの調整で疲れてしまふ。こんな家庭が多いに違いない。加茂に新しい生活の「足」があればもっと皆が幸せになるだろうと一歩を踏み出してはみたものの、さてその頃には...

10月14日 町会長の皆さんにお集まりいただきご意見を聞いてみました。こちらからの話としては「市に頼んでも行政で全部やってくれるはずはない」「加茂の住民自らが努力すれば実現できると思うがどうか」として成功事例を踏まえた提言をしてみました。質問、意見、議論百出のなか結果として①町会から戸数に応じて検討委員を選出。②地区全戸に対してアンケートを実施。の2点が了承されました。

11月11日 公共交通の確保に向けて理解を深めていただくとう市原市の担当者にも参加してもらい勉強会を実施。アンケート用紙も配布しました。

12月21日 町会から選出された委員による初会議。会の目的の確認とアンケートの分析に早速着手。どんな結果が出てくるのか、楽しみや不安や。(つづく)

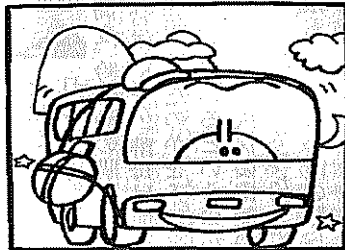
委員は次のとおり(敬称略)

◎高滝地区町会選出
高滝 根本富保・佐久間清・養老 小林喜明・河辺正利・鈴木文夫・本郷 松本正夫・脇谷 菊太郎・不入 戸谷正成・大和田 武貞行
久保 林秋男・平野幸夫・斎藤馨・外部田 加藤良一・駒込 飯塚根根・山口 根本 利夫

◎白鳥地区町会選出

戸面 鈴木源英・朝生原 正木幸雄・佐久 間進・東平智・石神 平田久夫・折津 石 橋千代子・大久保 積田雅明・国本 平野 貞夫・兼岡謙一・古宮常吉・平野啓三・月崎

秋田吉平・高山正市・柳川 中澤忠夫・菅野 村田尚行・石塚 宮原保宏
◎里見地区町会選出
月出 秋田治宣・田淵 森宮崇夫・鈴木嘉一・田中 田中 徳氏 選出なし・飯給 平野喜義・田邊均・大戸 鈴木恒男・平野 桐木健治・万田野 杉田久
◎富山地区 町会からの選出なし
◎市民会議委員
大曾根友三・飯塚源 三・大岩光代・古茶 昌行・常楽ノブ子・林町子・松下良一・丸房代・吉川富貴子・北見則弘・征矢貫造



この地にあつて 「俺は田舎のフスリ」的な所なのか

以前市民会議の話合いの中で加茂地区のよい点、気になる点というところいろいろ探して出してみたのですが、便利な点不便な点という観点からするとこれは圧倒的に不便な点の方が多い出されるのではないかと思います。殊に若い人たちにしてみればそう感じる人が多いでしょう。大きなスーパーやデパートや衣料品のチェーン店がないから買い物が不便である。映画館、コンサート会場、ゲームセンターもない。野球場やサッカー場もない。つまり遊ぶ場所がない。銀行もなければ保険会社も証券会社もない。こう書いていくと吉幾三の「俺は田舎のフスリ」という歌そのままになってしまふようですが、日本全国田舎といふのはそういうもので、それらがそろったという田舎ではなくなくなっています。では何があるかといえば、これも日本全国の田舎に共通してあるのが自然です。人も建物も少なく、自然は豊富にある、それしかないとも言えます。

不便は減っていった

私は十二、三年前にこちらに帰ってきたのですが、それまで東京の世田谷で仕事をしていた。暮らしていたので、こちらに帰ってきた時にはやはり不便だと思ったことがいくつもありました。しかしそのいくつかはだんだんに減ってきています。映画は茂原までい

けばシネマコンプレックスがあります。(車で20分ほど。車で行き車で帰ってくるというのが実にいい。なぜならいい映画を観た直後に新宿の雑踏に出て行くことを考えていた。きいた。いきなり現実には引き戻されるよりは誰にも会わずに帰って来れる方がいい。ただし、マイナーな映画などはあまり上映されない。それに今はレンタルでDVDなどを借りられるのである程度映画は見ることが出来ます。本屋も一軒もないのですが、今はインターネットで欲しい本は注文できます。(それも普通の本屋に注文するよりも早く届く。その他欲しい買物はこの界隈やネットでも買えます。ことに東京まで出て買物をする必要はない。あるものはあります。音楽の配信もあります。映画などもネットにレンタルされるようになりそうです。

田舎に芝居小屋はない

しかし、個人的にただひとつ東京にいた方が便利だと思ふことは、ライブ演奏や芝居を生で見るということです。ここに芝居は東京のいろいろな芝居小屋で毎晩たくさんものの上演されており、これは他の地方都市では不可能なことです。東京は世界有数の芝居都市でもあります。

映画もそうですが、なぜ映画を見続けるのか。一本として面白いものがないという人が映画を見続けることはないでしょう。一本の映画に感動した人はまたいい映画を観たいと思うでしょう。同じ理由で生の芝居は面白いのです。衝撃的な体験は寺山修司の演劇実験室天井桟敷の「レミング」でしたが、人が本当に感動したときどういう反応を示すのかということ。身を以て経験したのは倉本聰と富良野塾の東京公演「明日、悲別で」という芝居でした。芝居が終了したその時に拍手は全くおこらず、静かな時間が1分ほどたつてからまばらに拍手は始まりそれは割れんばかりのものへと変わっていったのです。本当に感動した時というのは打ちのめされて沈黙してしまうのだということがよくわかりました。

三谷幸喜の「東京サンシャインボーイズ」の芝居はみんな本当に面白かったです。役者の粒がそろっていて全体的にレベルの高い劇団でした。井上ひさしの「こまつ座」の芝居は奥が深くしかも芝居の醍醐味がある上、役者たちがすばらしいのでいつ観ても満足いくものでした。「夢の遊眠社」の野田秀樹は役者として突出していたし、渡辺えり子の「劇団300」も彼女が出てくるだけで舞台が生き生きし始めたものです。佐藤B作の「東京ボードビルショー」は家族的な雰囲気のある楽しさがあり、

柄本明の「東京乾電池」は少しクールな笑いがありました。芝居だけはDVDで観ることはできないし、仮に観ることができても生で観るものとは全く別物になってしまふでしょう。映画と違って芝居は自分の目ですべてを視野に収めることもできるし、ある特定の役者の表情に注目することもできる、つまり人によって見方が全く異なっているからです。また生で演じられている以上同じ芝居でもその夜たった一回の出会いであるからです。

この地にあつて

そういう芝居を見る機会がなくなり、非日常的なところでの感動が減ってしまったのはやはり残念なことです。その点では不満なところもありますが、この地にあつて暮らしてきて、当たり前のように四季の移り変わりを眺め、夕日に染まるダム湖を眺め、キンモクセイや梅の香りを嗅ぎ、畑で作物を作り、竹林を吹き抜ける風にあたり、それらを皆心地よく感じています。

形あるものの充足感よりも形のないものによる充足感で心はほんとうに満たされてくるのだと思います。不便と思つていたことが次第に不便とも思えなくなつて来たのも気持ちの変化によるのだと思います。便利が便利でないのか、住み良いのか住み良くないのか、人によつてその捉え方は様々でしょう。世代によつても判断は大きく異なるでしょう。

若い世代がこの地を離れ、都会に行きたがるのもよくわかります。何よりも刺激が少なく、すべての可能性が都会にあるように見えるでしょう。しかし、この地にあつて、この地にしかないもの、それもまた存在している、可能性はここにもあるといふことも事実です。(征矢里山通信員)



加茂くうぶ だより

忙しいうち年末年始も何とか無事にやり過ごし、一段落したところでいつもの生活ペースに戻りつつあります。昨年度の新春号ではいろいろなご家庭のお雑煮事情をご紹介しましたが、各家庭でそれぞれおせちとともに召し上がられた事と思います。

さてそのお餅とおせちの話題で一考。子供のころにはこの時期になるとよく見かけた水餅を見る事がめっきり少なくなりました。どうやら昭和40年生まれぐらいから下の年齢の人達にとっては、子供のころよりあまり見たことのないようです。今、お餅の保存方法はほとんどのご家庭とも冷蔵庫だとおもいますが、ちょうどそのくらいから冷蔵庫が普及したからでしょう。当時はアオカビのはえた水餅のカビを削って、焼いたりあられにしたりいぶん永いこと食べていたような記憶があります。そんな小さな風習もいつかなくなってしまうのでしょうか、ちよつと寂しい気がしています。そういえばあのアオカビってベニシリン発見のもとじゃあなかったっけ！

それにしても最近のおせちの豪華さは目を見張るものがあると思えますが、どうなんでしょう。まだまだ手作りの昆布巻やら田作りやらを作られているご家庭も多いと思えますが、それもお年寄りのいる家で、若い世代のみの家庭においてはすべてが出来合いという事も珍しくない様です。

またお正月の定番になりつつあるカニっていつから食べ出したのかな？自分が帰ってきたころにはそんなにカニは売っていなかったと思うのですが、それじゃあ今年も軽めのべつて語でスタートしましょうか

いつものお店にて：おめいはいさつきからけえる、けえるついでいながら、ちつともけえるきもねえんだから、けえるならけえるでさつきとけえれ！(つて、そこで敬礼しているのは誰？)

(戸沢里山通信員)



魚屋の戯言

明けましておめでとうございませう。

魚屋をやつてお客さんに一番多く聞かれる質問にこんなものがあります。「仕入れはどこまで行くの？朝は何時に起きるの？市場で誰でも入れるの？私でも売つてくれるのかなあ？」という訳で今回は魚屋として市場のお話にしました。

仕入れ先は千葉市美浜区にある千葉中央卸売市場まで行つてます。

せりが始まるのは5時半からなんです、その前にどんな魚が入荷しているかをせり場で見ておきたいので家を4時に立ちます。

市場には入場許可証を持つてない車は入られてくれません。数年前に市場内を通勤の為に通り抜けようとした車が事故を起こして以来、チェックの為のゲートが出来て許可証を持つてない車は入場できなくなりました。が安心して下さい、ゲートで「市場内で買物したい」と言えば仮の許可証をもらえます。

この時には軽い面接のようなものがあり住所、氏名、年齢、血液型、家族構成、時には所持金額まで聞かれますので正直にお答え下さい。

ウソだと思われるかも知れませんがもちろんウソです。

ターレと呼ばれるエンジン付きの荷車や台車が行ったり来たりして居る駐車場を注意しながら進んでみましょう。駐車場にはアルファベットと数字が組み合わされた番号があるのでもしかり覚えておいて下さい。

さあ、いよいよ買出しです。

基盤の目のようにきちんと整備された通路に沿つて色々なお店がありますが、これが仲卸しと言つて直接品物が買えるお店です。主に魚屋やスーパーマーケットを相手にしているお店や、お鮨屋さん、料理屋さんの人が集まるお店もありますし、更にマグロ専門のお店、鮮魚に力を入れているお店、塩干(えんかん)と呼ばれる干物をメインにしているお店、貝類が得意なお店というのがあります。それらを何種類か兼ねて居るお店もあつてなかなか楽しいところですよ。

誰が行つてもフグを除いて売つてくれるはずですが、普段の買い物とは決定的に違う事があります。市場に買出しに来る人達は殆どが仕事や商売の為に来ている。商品についてある程度の知識があるという事を前

提にしている点が普段の買い物と違つてます。

忙しい時などはあまり詳しい説明は期待できないと思つて下さい。「この人は何にも知らないな」と思われるのが得策かどうかは皆さんの判断にお任せするとして、市場といふのはそういう所なんです。

買った品物はお店の人に駐車場の番号を言えば積んでおいてくれますから荷物を持つ事なく次のお店に行けるのも便利です。

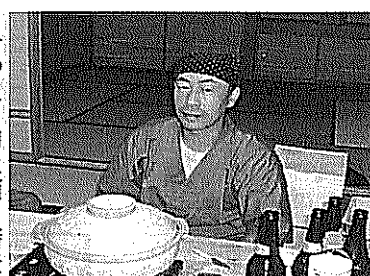
普段あまり見かけない珍しい食材が沢山あつて食いつく坊達にはたまらない所ですから一度お出かけになるのも楽しいものだと思います。

(鈴木里山通信員)



里山通信員紹介

加茂城旅館の若旦那として調理場から接客までこなす、合間には畑作りや陶芸にも手を伸ばす。とにかくこだわりの人である。知り合った当初は酒と蕎麦。吟醸酒の購入の時は酒米は何か、精米歩合は何%か、酵母は何を使つて居るか、いつ瓶詰めしたのかをチェックし、最低限冷蔵庫に入つて居るというのが条件だそう。友人と酒米を大久保の山側の田んぼで栽培し、どぶろくまで造つてみたとか。蕎麦も何度か栽培したもの、製粉の段の難しさで断念しているらしい。養老吟醸会の主催者として酒と肴にこだわりの、五、六年まえから土鍋で炊くご飯に凝つて居る。青年部で手掛けたイベントの仕掛け人として仲間からは、買けたイベントでこなけりやもつと時間に余裕のある暮らしが出来たのにと敬愛をこめて言われている。愛読書は現代農業(結構がんな昭和二十九年生まれの五十才。

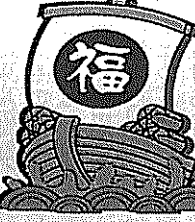


加茂城旅館の若旦那として調理場から接客までこなす、合間には畑作りや陶芸にも手を伸ばす。とにかくこだわりの人である。知り合った当初は酒と蕎麦。吟醸酒の購入の時は酒米は何か、精米歩合は何%か、酵母は何を使つて居るか、いつ瓶詰めしたのかをチェックし、最低限冷蔵庫に入つて居るというのが条件だそう。友人と酒米を大久保の山側の田んぼで栽培し、どぶろくまで造つてみたとか。蕎麦も何度か栽培したもの、製粉の段の難しさで断念しているらしい。養老吟醸会の主催者として酒と肴にこだわりの、五、六年まえから土鍋で炊くご飯に凝つて居る。青年部で手掛けたイベントの仕掛け人として仲間からは、買けたイベントでこなけりやもつと時間に余裕のある暮らしが出来たのにと敬愛をこめて言われている。愛読書は現代農業(結構がんな昭和二十九年生まれの五十才。

読者の皆様へ 宝船プレゼント

読者の皆さんにお年玉プレゼントとして豪華宝船を3名様にプレゼントいたします。

今年「松」「竹」「梅」の3台用意しました。
「松」：手押し一輪車、スコップ、最高級酒一升、カニ、まぐろ他
「竹」：手押し一輪車、スコップ、高級酒一升、カニ、まぐろ他
「梅」：手押し一輪車、スコップ、高級酒四合ビン、カニ、まぐろ他など豪華商品満載です。
応募はハガキに住所、氏名、里山通信への感想を必ず書いて下さい。
宛先は〒290-0081 市原市五井中央西1-22-25 市原商工会議所「加茂里山通信宝船プレゼント係」まで
〆切1月31日の消印有効
当選者には直接通知致します。
当選された方は2月13日(日)正午に商工会議所加茂支部(月崎)に取りにきていただきます。ふるつてご応募下さい。



読者の声

毎朝「里山通信」楽しみにしています。
高滝に住んで三年、ようやく近所付き合い合ひもできるようになりました。唯一「里山通信」は地元を知る近道、参考になります。
今後とも楽しみにしています。
(養老 O.F. 主婦)
今回お便りをいただいたO.F.さんは、前回の球根プレゼントで当選された方です。おめでとうございませう。
実はこの後、賞品の球根を届けるため、本紙責任者の大曾根氏が訪れたところ、あいにく入浴中らしく、周辺には気まずい空気が流れ、わずかな心の動揺が生じた。という報告がありました。
皆さん、大切な訪問の前には、必ず連絡をしてから伺いましょうね

編集後記

平成十六年の暮れには雪も降つたせいか、この年末年始は巷が非常に静かに感じられました。
さて、今シーズン皆さんは忘年会や新年会に何回参加されましたか？一般的に、一つの団体で忘年会や新年会を両方行うところはかなり少なくなつたようです。個人的にも、不景気やその他諸々の要因で、飲み歩く機会が少なくなつたのも確かでしょう。
そういえば近頃、路上をフラフラと見事な？ステップの千鳥足で徘徊する輩をほとんど見なくなりました。そう、酔っぱらいさんです。なぜか懐かしい響きさえ感じられます。
最近、宴会でも怒鳴つたり大喧嘩をする光景を見なくなり、泥酔して家に担がれる話も耳にしません。それは私とその周辺が歳を取つて来たせいなのでしょう。
今の二十代の若者達はどんな飲み会を楽しんでいるのでしょうか。自分を思い切りさらけ出していますか？(当然、酒の力も借りて下さい)。喧嘩はいけません、何か自分の信念は持つて語り合ひ盛り上がりつつほしいと思います。めでたく酒飲み仲間が増える一月半ば、いつも思つてしまいます。

ふるさと作家 遠山あづみの新刊発売中！
極限の人間への熱い思いを描く「平太郎のシベリア抑留ものがたり」思わず懐かしい！「小湊鉄道の今昔」以上2刊



右：平太郎のシベリア抑留ものがたり 1575円税込
左：小湊鉄道の今昔 1800円税込